事業の流れ

- 都市計画事業承認
- 事業概要及び測量・用地説明会
- 調査・設計
  - 測量調査等
  - 道路等の設計
- 用地取得
  - 用地測量・調査
  - 補償説明・契約
  - 物件移転・土地引渡
- 工事
  - 道路等の工事
- 供用開始

用地取得に向けた手続き

1. 用地幅杭の設置
2. 用地境界確認～用地測量、物件調査
3. 土地調書・物件調書の確認
4. 補償内容の説明（補償金提示等）
5. 契約の締結
6. 補償金の支払い（前金払い）
7. 建物等の移転・土地の引渡し（明渡し）
8. 補償金の支払い（後金払い・一括払い）

【お問合せ先】
国土交通省 関東地方整備局 東京国道事務所
事業の概要について　TEL 03-3512-9165（交通ターミナル整備課）
用地補償について　TEL 03-3512-9092（用地第一課）

ホームページはコチラ

国道15号
品川駅西口基盤整備

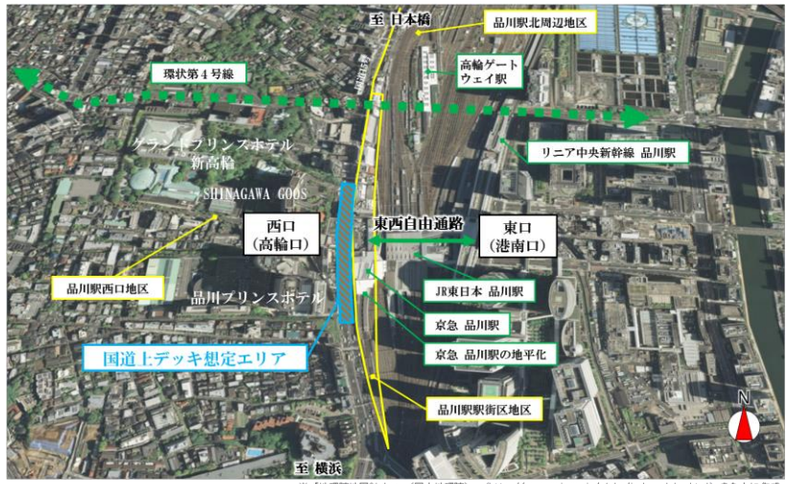
国土交通省　関東地方整備局
東京国道事務所

①事業の概要・コンセプト　～品川駅西口の概要～

○品川駅周辺では、鉄道駅施設の大規模な再編や、MICE・宿泊施設等の機能を備えた複合的施設の開発が計画されています。

○品川駅の東口は、オフィスビルを中心に開発が進展しています。

○一方、国道15号を含む西口については、リニア中央新幹線や羽田空港の国際化を踏まえ、シンボル性、賑わい性のある複合施設が計画されています。

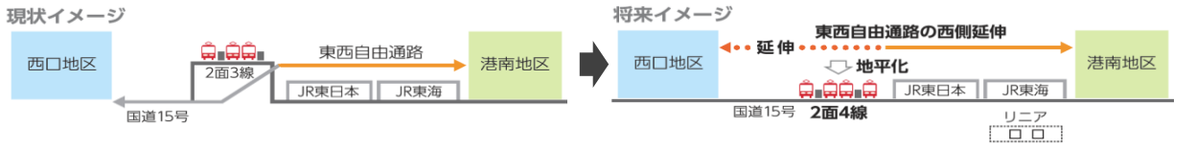


※「地理院地図Globe」（国土地理院）（http://maps.gsi.go.jp/globe/index_globe.html）をもとに作成

品川駅西口（高輪口）の状況

東西自由通路の状況

品川駅西口の整備イメージ



②国道15号・品川駅西口駅前広場の将来の姿

○品川駅周辺地域は、新たな国際交流拠点の形成に向けて、道、駅、まちが一体となった都市基盤の整備を進め、「世界の人々が集い交わる未来型の駅前空間」を目指します。

◆次世代型交通ターミナル◆

●最先端のモビリティ（自動運転等）の乗降場を集約した次世代モビリティターミナルを配置

次世代型交通ターミナルのイメージ

◆シンボリックなセンターコア◆

●利用者動線の交差部には連携の拠点となるセンターコアを配置

●交通結節の各空間を結ぶシンボリックな空間を形成

センターコアのイメージ

◆開発計画と連携した複合（交通・防災）ターミナル◆

●民間の開発計画と連携し、交通と防災を融合させた複合ターミナルを配置

●タクシー、ツアー系高速バス、次世代モビリティ等の乗り換えを可能に

バスタ新宿

◆人々が集う賑わい広場◆

●センターコアの南側には、人々が集い、憩う賑わい広場空間を配置

●有事の際には、防災拠点としても活用

賑わい空間のイメージ

横浜側から見た品川駅西口駅前広場の機能のイメージ

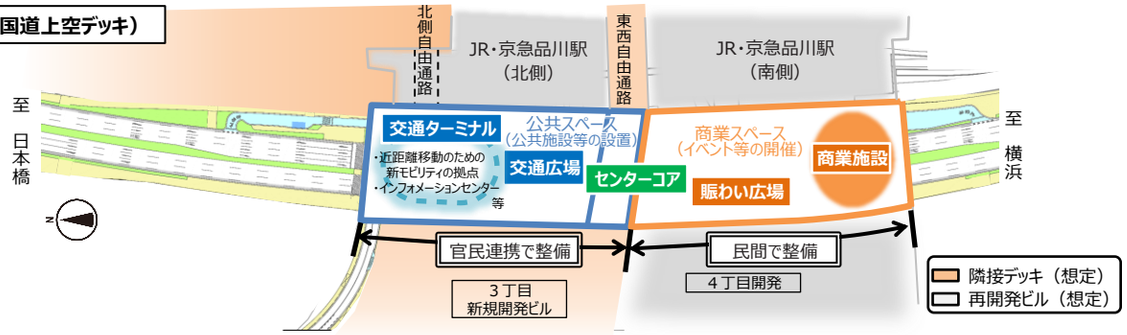
※将来必要となる機能をイメージしたものであり、整備内容を決定したものではありません

③段階的な整備の進め方　～施設配置計画と官民の事業区分～

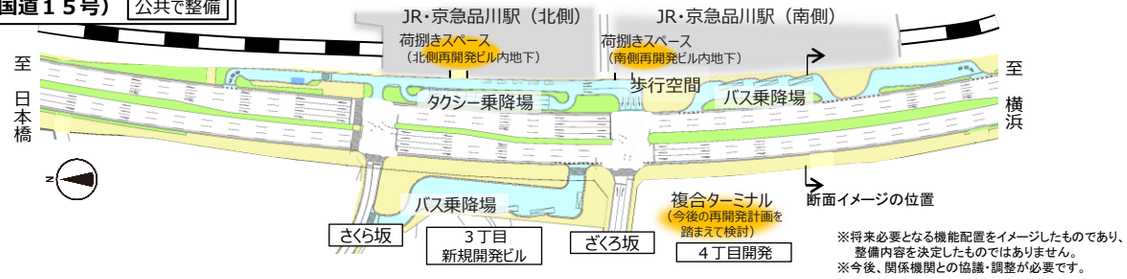
○1階部分は、駅前広場の拡張により国道15号の「自動車交通を円滑化」に係る事業を実施します。

○2階部分は、上空デッキ等の官民連携整備により「歩行者の移動の円滑化」、「賑わいの創出」、「新たなモビリティの活用」に係る事業を実施します。

２Ｆ（国道上空デッキ）



１Ｆ（国道１５号） 公共で整備

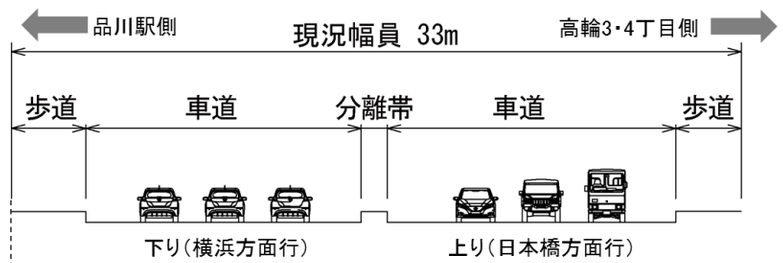


※将来必要となる機能配置をイメージしたものであり、整備内容を決定したものではありません。
※今後、関係機関との協議・調整が必要です。

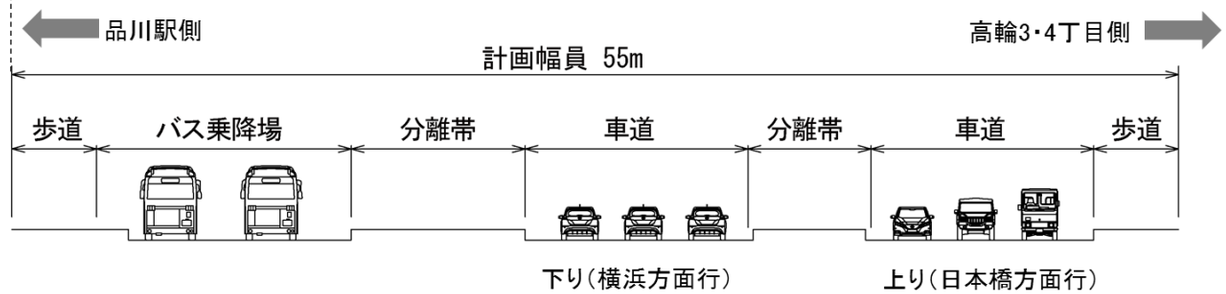
④国道15号の整備計画

○品川駅西口駅前・国道15号の現在と計画の断面イメージです。国道15号が西側（高輪3・4丁目側）に拡幅され、バスやタクシーの乗降場等を整備する計画です。

（現在）



（計画）



※計画の断面イメージは、今後実施する測量調査や設計等により変更する可能性があります。